

エフジョイント 施工手順

＜製品の内容＞ ①本体ゴム ②ステンレスバンド ③バックアップ材 ④フサギ材(リブ管用)
⑤防護リング(リブ管用)

＜用意していただくもの＞ 1. ボックスライバー(8mm) 2. セットハンマー 3. 刷毛 4. ウェス
5. FCボンド(別売)



- 適応削孔径を超える場合は、止水モルタルで調整してください。
- 埋め戻しの際、不同沈下が生じないように、継手下部は十分に締め固めてください。
- 単管(4m以下)での管止め施工の場合は、土圧等によりマンホール内側に本管が突き出る恐れがありますので、適切な処置を行ってください。

①壁面の清掃	②ボンド塗布	③本体ゴムセット	④位置決め
<p>マンホール設置前に壁面をワイヤブラシ・ウェス等で清掃します。</p>	<p>壁面にFCボンドを刷毛で塗布します。マンホール設置前、設置後と2回塗布します。 ※FCボンド塗布部は乾燥している事を確認してください。壁面が濡れている場合ボンドの接着不足の原因となります。</p>	<p>本体ゴム及びステンレスバンドを本管に装着します。 ※リブ管の場合、フサギ材を二重バンドの下になる位置にセットします。その後、防護リングをリブ管にあずけてから本体ゴムを装着します。</p>	<p>ボンドがある程度乾燥した後、本体ゴムの↑印を真上に合わせ壁面にセットします。 ※ある程度の乾燥とはボンドを触って粘着はあるが指に付かない状態です。時間的には10分程度です。</p>
⑤離型フィルム除去	⑥圧着	⑦バンド締付け	⑧仕上げ
<p>本体ゴムを壁面に押しつけながら、離型フィルムを剥がします。 ※貼り付け面にシワが寄らないよう注意してください。</p>	<p>セットハンマー等で本体ゴムの内側から外側に向かって叩きもれが無いように全面叩いて圧着します。 ※特に端部に叩きもれが無いように注意してください。</p>	<p>ステンレスバンドを十分に締付けます。 ※リブ管の場合、ステンレスバンドを片締めにならないように交互に締付けます。その後、防護リングを二重バンドの上にセットしてください。 ※締めみトルクは5~7N・m(参考値)</p>	<p>バックアップ材を本管と削孔面の間に挿入し、目地仕上げを行います。</p>



適応削孔径

管種	呼び径	適応削孔径
塩ビ管 (VU)	100	150mm
	150	206mm
	200	252mm
リブ管 (PRP)	150	206mm
	200	252mm